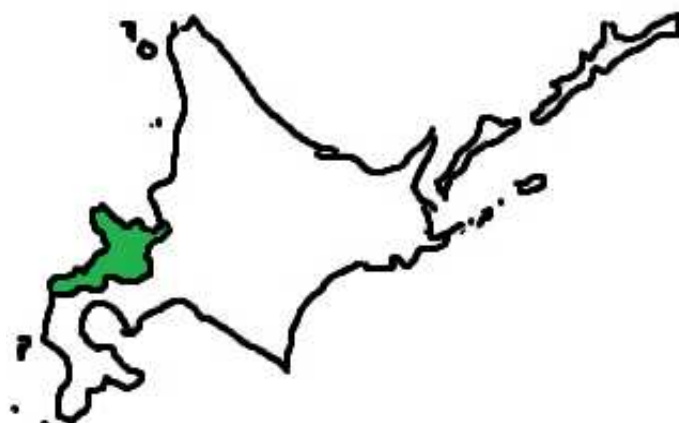


しりべし経済レポート

Vol.84
(平成29年8月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所


URL <http://hokkaido.mof.go.jp/otaru/index.html>

ご存知ですか？地域を支える財務局 ～財政・金融・国有財産～







1. 【平成29年4月～6月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している。

最近の管内経済情勢をみると、個人消費は、主要小売店売上高は前年を僅かに下回ったものの、新車登録台数は引き続き前年を上回っており、持ち直している。観光は、アジア圏からの外国人観光客が牽引し、好調を維持している。公共工事前払金保証請負金額は前年を上回っているほか、雇用についても改善の動きが続いている。

	前回（29.1-3期）	今回（29.4-6期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

2. 【各項目の判断】

	前回（29.1-3期）	今回（29.4-6期）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
観光	好調を維持している	前年を下回ったものの、好調を維持している	
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	
公共工事	前年を上回る	前年を上回る	
生産	一部に弱い動き	一部に弱い動き	
雇用	改善の動きが続いている	改善の動きが続いている	

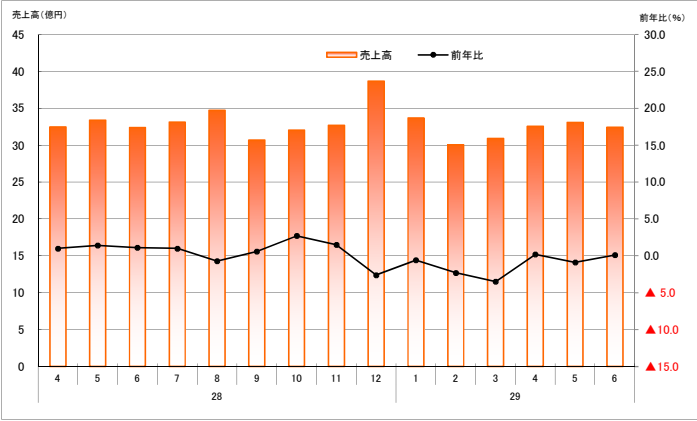
【個人消費】

持ち直している

主要小売店売上高動向（29年4月～6月）をみると、衣料品、身の回り品などは前年を上回ったものの、主力の飲食料品は生鮮食品などが低調に推移したことから前年を下回り、全体では僅かながら前年を下回った。

新車登録台数動向（29年4月～6月）をみると、SUVやミニバンなどの新型車を中心に動きが見られたことから、5四半期連続で前年を上回っている。

主要小売店売上高



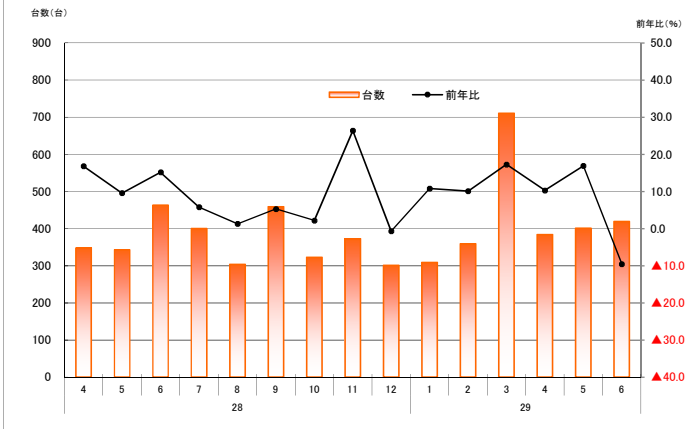
(資料)北海道財務局小機出張所

	売上高(百万円)	前年比
26年	39,500	0.1
27年	39,250	▲ 0.6
28年	39,678	1.1

(参考)27.4～6	9,711	2.1
28.4～6	9,824	1.2
7～9	9,852	0.3
10～12	10,338	0.3
29.1～3	9,462	▲ 2.1
4～6	9,803	▲ 0.2

29年1月	3,368	▲ 0.6
2月	3,005	▲ 2.3
3月	3,089	▲ 3.5
4月	3,254	0.2
5月	3,308	▲ 0.9
6月	3,241	0.1

新車登録台数



(資料)北海道財務局小機出張所

	台数(台)	前年比
26年	4,763	4.4
27年	4,352	▲ 8.6
28年	4,525	4.0

(参考)27.4～6	1,013	0.1
28.4～6	1,154	13.9
7～9	1,163	4.4
10～12	997	9.1
29.1～3	1,379	13.9
4～6	1,204	4.3

29年1月	309	10.8
2月	359	10.1
3月	711	17.3
4月	384	10.3
5月	401	16.9
6月	419	▲ 9.5

(注)軽自動車を除く

個人消費に関する生の声

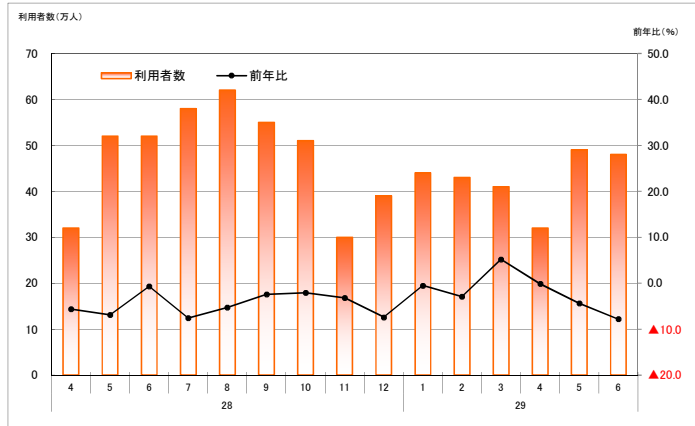
- ・生鮮品では、野菜が昨年台風の影響で単価が上昇し売上が伸びた反動から売上高は減少し、果物類はサクランボやメロン等の入荷が少ない状態で前年を下回っている。鮮魚は寿司を含む生食用がアニサキス報道の影響を受け売上が減少したほか、イカが不漁の影響から入荷が少なく売上が落ちている。(小売店)
- ・惣菜類は好調で、高齢者を中心に自分で作らず購入する方が増えていることが要因と思われる。(小売店)
- ・家電製品では、例年この時期動きがある扇風機や、最近話題となっている4KTV等のAV関連商品についても動きが鈍く前年を下回っている。インパウンド需要も前年を大幅に下回っている。(小売店)
- ・衣料品では、婦人服の一部人気商品やTシャツ、子供服ではジャージ等に動きが見られた。また6月にはバーゲンセールが好調で前年を上回った。(小売店)
- ・小型SUVや小型ミニバンが好評なことから、販売台数は前年を上回っている。(自動車ディーラー)

【観光】

前年を下回ったものの、好調を維持している

主要観光施設の入込客数（29年4月～6月）をみると、国内観光客が減少したことにより前年を下回ったものの、韓国などアジア圏からの外国人観光客が牽引し、全体としては好調を維持している。

主要観光施設の利用者数



(資料)北海道財務局小樽出張所

	利用者数(万人)	前年比
26年	480	6.2
27年	576	20.0
28年	558	▲3.2
(参考)27.4～6	142	29.8
28.4～6	135	▲4.3
7～9	175	▲5.2
10～12	119	▲4.2
29.1～3	129	0.4
4～6	129	▲4.7
29年1月	44	▲0.5
2月	43	▲2.9
3月	41	5.2
4月	32	▲0.1
5月	49	▲4.4
6月	48	▲7.8

(注)一部暫定値

観光に関する生の声

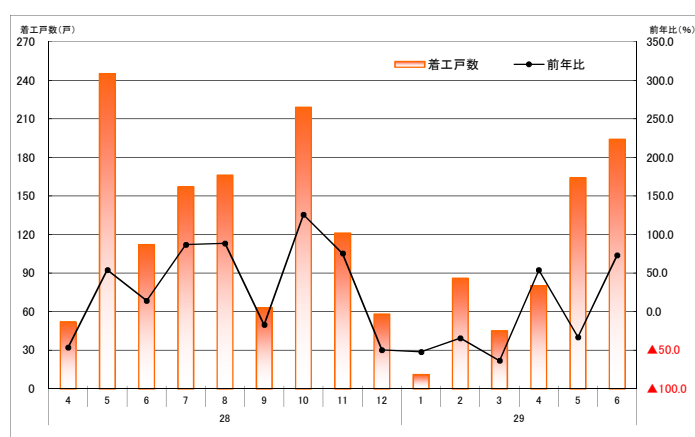
- ・外国人観光客好調の背景には、中国人、韓国人を中心に増加したことが挙げられる。特に韓国人は前年比で6.3倍に増加している。中国人の増加は、3月26日に新千歳空港の定期便が32便から42便となり、新千歳一小樽間のエアポート利用者数が増加した影響と思われる。また韓国やタイで小樽を舞台にした映画がヒットし、聖地として訪れる観光客が多くみられた。カナダ人、豪州人などの入込みもみられ、ニセコ、倶知安地区から流れていると思われる。スキーシーズン終了後も絶えず入込みが続いている。(観光関連団体)
- ・国内客についての入込みは芳しくないが、シーズンオフのこの期間が減少しているだけで、通年ではある程度の利用が見込めるものと考えている。(宿泊業)

【住宅建設】

前年を上回る

住宅建設動向を新設住宅着工戸数（後志管内・29年4月～6月）でみると、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家等が増加したことから、全体では前年を上回っている。

新設住宅着工戸数(後志管内)



(資料)国土交通省

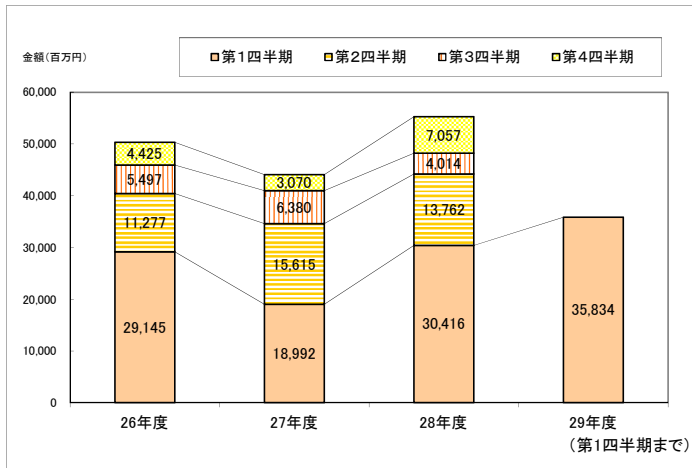
	着工戸数(戸)	前年比
26年	722	▲25.5
27年	995	37.8
28年	1,471	47.8
(参考)27.4～6	354	57.3
28.4～6	409	15.5
7～9	386	55.6
10～12	398	41.6
29.1～3	142	▲48.9
4～6	438	7.1
29年1月	11	▲52.2
2月	86	▲34.4
3月	45	▲63.7
4月	80	53.8
5月	164	▲33.1
6月	194	73.2

【公共工事】

前年を上回る

公共工事動向を公共工事前払金保証請負金額（29年4月～6月）で見ると、前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(資料) 北海道建設業信用保証機構

	金額(百万円)	前年比
26年度	50,350	0.8
27年度	44,063	▲ 12.5
28年度	55,256	25.4

(参考) 27.4～6	18,992	▲ 34.8
28.4～6	30,416	60.2
7～9	13,762	▲ 11.9
10～12	4,014	▲ 37.1
29.1～3	7,057	2.3倍
4～6	35,834	17.8

29年1月	218	26.7
2月	463	77.4
3月	6,376	2.4倍
4月	9,682	▲ 2.4
5月	17,636	52.4
6月	8,516	▲ 4.5
7月	6,827	11.5

(注) 各年度の累計については、元資料の計数を記載しており、端数の関係で四半期合計と合致しない。

【生産】

一部に弱い動き

生産動向（29年4月～6月）で見ると、水産加工は、原魚不足や仕入価格の高騰などから一部で弱い動きとなっている。

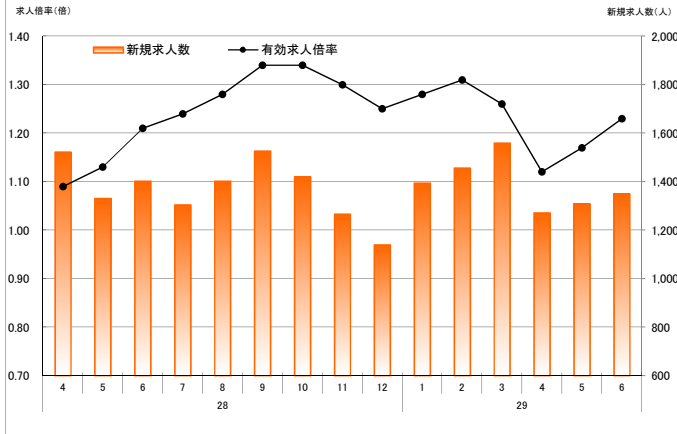
生コンは、官需は順調に推移したものの、民需が前年を下回ったことから、全体では前年を下回っている。

【雇用】

改善の動きが続いている

雇用動向（29年4月～6月）をみると、有効求人倍率は、引き続き前年を上回っている。
 なお、新規求人数は、建設業や医療・福祉などが増加したものの、宿泊・飲食サービス業
 や製造業などで減少したことから、前年を下回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(資料)小樽・岩内公共職業安定所

	倍率(倍)	前年差(Pt)	新規求人数	前年比
26年	1.04	0.24	16,296	9.0
27年	1.16	0.12	16,895	3.7
28年	1.21	0.05	16,570	▲ 1.9
(参考)27.4～6	1.03	0.07	4,228	2.6
28.4～6	1.14	0.11	4,255	0.6
7～9	1.29	0.02	4,233	▲ 3.1
10～12	1.30	0.03	3,825	▲ 0.8
29.1～3	1.28	0.13	4,409	3.6
4～6	1.17	0.03	3,930	▲ 7.6
29年1月	1.28	0.13	1,394	14.1
2月	1.31	0.13	1,456	0.3
3月	1.26	0.13	1,559	▲ 1.5
4月	1.12	0.03	1,271	▲ 16.5
5月	1.17	0.04	1,309	▲ 1.7
6月	1.23	0.02	1,350	▲ 3.7

雇用に関する生の声

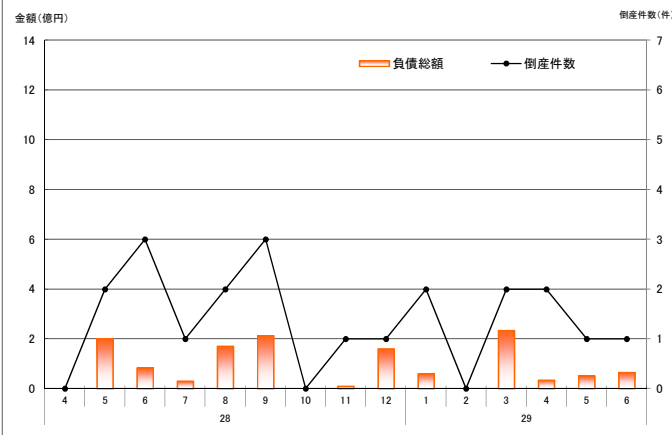
- ・人手不足感が全体的に強まり、人員確保が難しくなっていることから、企業側でも既存の従業員を引き留めるため、待遇改善等の努力を強めている。(職業安定所)
- ・政府の働き方改革の推進に対応し、労働時間の縮減を進めているが、現場管理に係る人員の確保が出来ず厳しい状況となっている。(建設業)

【企業倒産】

件数、負債総額ともに前年を下回る

企業倒産動向（29年4月～6月）をみると、倒産件数は4件、負債総額は1億50百万円と件数、負債総額ともに前年を下回っている。
 原因別では、「販売不振」が3件、「業績不振」が1件となっている。

企業倒産



(資料)㈱東京商工リサーチ

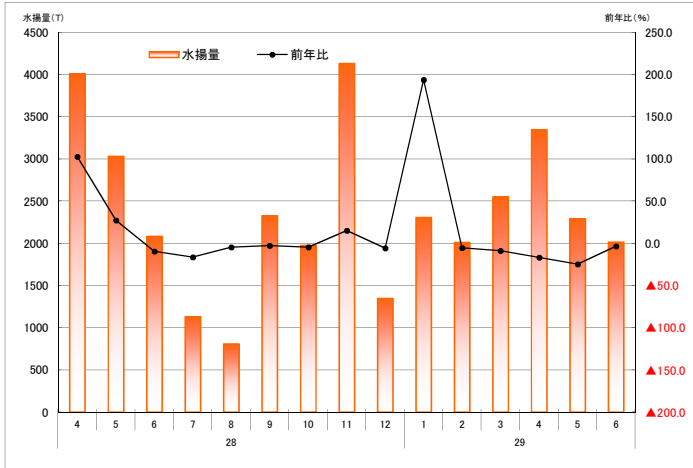
	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
26年	14	0.0	7,297	42.8
27年	8	▲ 42.9	1,773	▲ 75.7
28年	19	2.4倍	2,243	26.5
(参考)27.4～6	2	▲ 66.7	73	▲ 98.7
28.4～6	5	2.5倍	283	3.9倍
7～9	6	3.0倍	414	▲ 13.9
10～12	2	2.0倍	170	70.0
29.1～3	4	▲ 33.3	293	▲ 78.7
4～6	4	▲ 20.0	150	▲ 47.0
29年1月	2	2.0倍	60	53.8
2月	0	0.0	0	0.0
3月	2	▲ 60.0	233	▲ 82.6
4月	2	皆増	34	皆増
5月	1	▲ 50.0	51	▲ 74.5
6月	1	▲ 66.7	65	▲ 21.7

【漁業】

水揚量、水揚金額とも前年を下回る

漁業動向（29年4月～6月）をみると、水揚量はスケトウダラなどは増加したものの、ホッケ、ホタテ、コウナゴなどが減少したことから前年を下回り、水揚金額はコウナゴ、ウニなどが増加したものの、ホッケ、ホタテなどが減少したことから前年を下回っている。

漁業(水揚量)



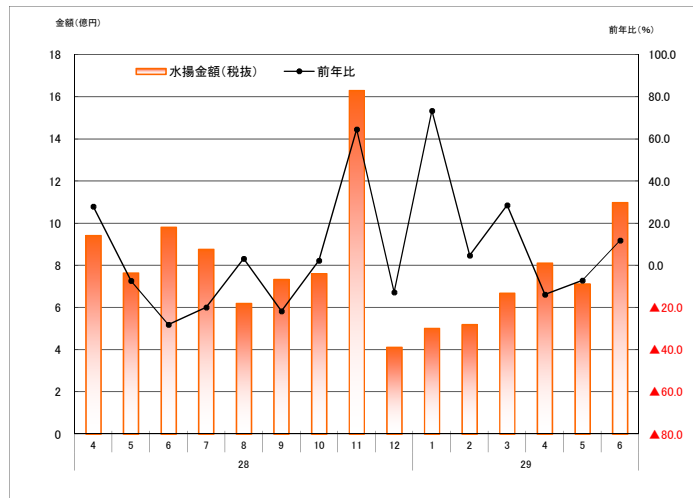
(資料) 北海道財務局小樽出張所

	水揚量(T)	前年比
26年	31,301	▲ 18.7
27年	22,851	▲ 27.0
28年	26,553	16.2

(参考) 期間	水揚量(T)	前年比
27.4～6	6,653	▲ 40.7
28.4～6	9,129	▲ 37.2
7～9	4,270	▲ 6.9
10～12	7,458	5.3
29.1～3	6,873	20.7
4～6	7,658	▲ 16.1

29年 月	水揚量(T)	前年比
1月	2,309	2.9倍
2月	2,011	▲ 5.1
3月	2,553	▲ 8.6
4月	3,348	▲ 16.5
5月	2,294	▲ 24.4
6月	2,016	▲ 3.3

漁業(水揚金額)



(資料) 北海道財務局小樽出張所

	水揚金額(百万円)	前年比
26年	8,813	7.1
27年	8,854	0.5
28年	9,029	2.0

(参考) 期間	水揚金額(百万円)	前年比
27.4～6	2,922	8.0
28.4～6	2,689	▲ 8.0
7～9	2,231	▲ 15.2
10～12	2,805	27.0
29.1～3	1,689	29.6
4～6	2,622	▲ 2.5

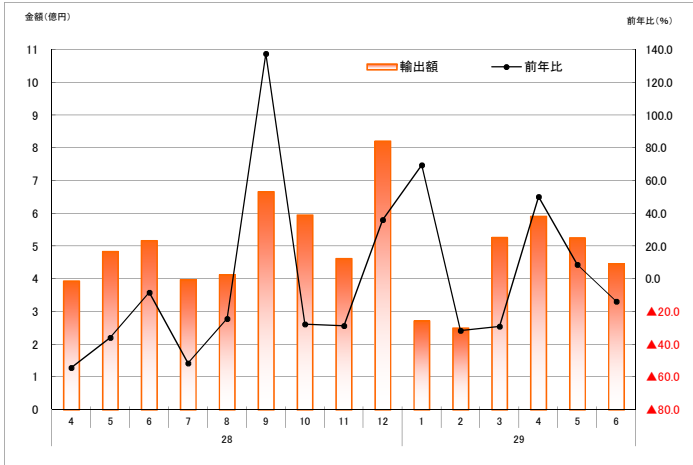
29年 月	水揚金額(百万円)	前年比
1月	502	73.4
2月	519	4.8
3月	668	28.7
4月	811	▲ 13.8
5月	712	▲ 7.0
6月	1,099	11.9

【貿易】

輸出、輸入とも前年を上回る

貿易動向を輸出入価額（29年4月～6月）で見ると、輸出は、中国向けホタテ等の「魚介類及び同調整品」などは減少したものの、中国向け農業用機械等の「一般機械」やロシア向け「自動車」などが増加したことから、前年を上回っている。輸入は、アメリカからの「肉類及び同調整品」や「とうもろこし」などは減少したものの、アメリカからの「小麦及びメスリン」などが増加したことから、前年を上回っている。

貿易(輸出:小樽港)



(資料) 函館税関小樽税関支署

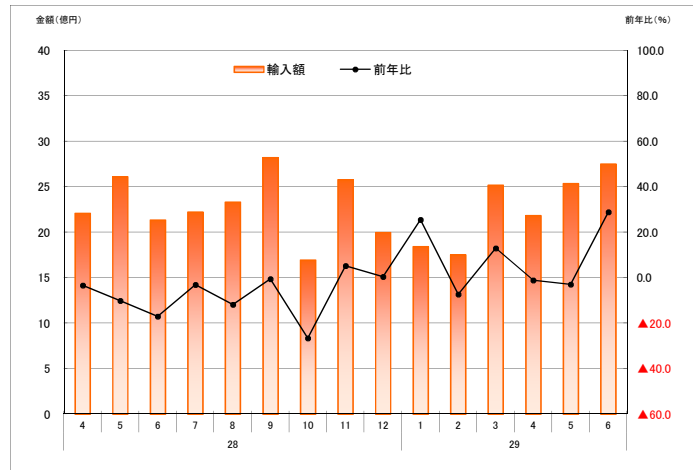
	金額(百万円)	前年比
26年	10,744	▲ 24.7
27年	7,352	▲ 31.6
28年	6,014	▲ 18.2

(参考) 期間	金額(百万円)	前年比
27.4~6	2,179	▲ 29.0
28.4~6	1,393	▲ 36.1
7~9	1,476	▲ 10.4
10~12	1,877	▲ 9.5
29.1~3	1,047	▲ 17.4
4~6	1,561	12.0

29年	金額(百万円)	前年比
1月	271	69.6
2月	250	▲ 31.6
3月	526	▲ 29.2
4月	591	50.2
5月	525	8.7
6月	446	▲ 13.8

(注) 速報値ベース

貿易(輸入:小樽港)



(資料) 函館税関小樽税関支署

	金額(百万円)	前年比
26年	29,325	▲ 9.6
27年	29,269	▲ 0.2
28年	26,181	▲ 10.6

(参考) 期間	金額(百万円)	前年比
27.4~6	7,762	▲ 2.6
28.4~6	6,953	▲ 10.4
7~9	7,372	▲ 5.2
10~12	6,271	▲ 7.1
29.1~3	6,109	9.4
4~6	7,466	7.4

29年	金額(百万円)	前年比
1月	1,841	25.5
2月	1,751	▲ 7.4
3月	2,517	12.9
4月	2,182	▲ 1.2
5月	2,534	▲ 2.9
6月	2,750	28.8

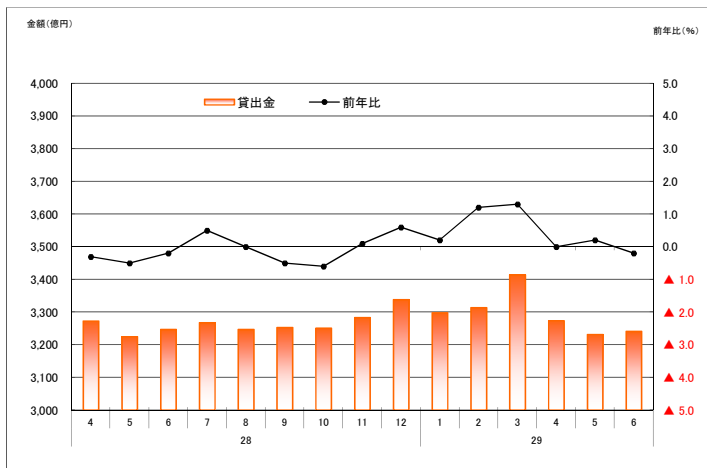
(注) 速報値ベース

【金融】

貸出金残高は前年並み

資金需要動向（29年6月末）をみると、管内金融機関の貸出金残高は、設備資金は前年を上回ったものの、運転資金が前年を下回ったことから、全体ではほぼ前年並みとなっている。なお、貸出約定平均金利は、前月差で0.007ポイント低下し、1.464%となっている。

金融（貸出金）

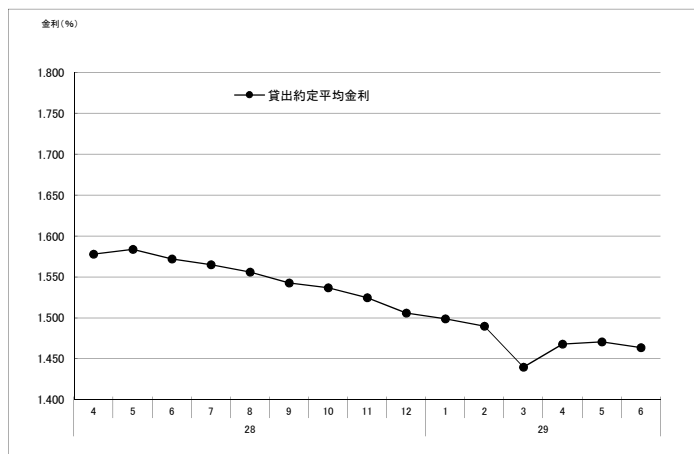


(資料) 北海道財務局小樽出張所

	金額(億円)	前年比
27年3月	3,414	▲ 0.1
28年3月	3,369	▲ 1.3
29年3月	3,414	1.3

29年1月	3,298	0.2
2月	3,314	1.2
3月	3,414	1.3
4月	3,274	0.0
5月	3,232	0.2
6月	3,241	▲ 0.2

金融（貸出約定平均金利）



(資料) 北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
27年3月	1.635	▲ 0.089
28年3月	1.572	▲ 0.063
29年3月	1.440	▲ 0.132

29年1月	1.499	▲ 0.007
2月	1.490	▲ 0.009
3月	1.440	▲ 0.050
4月	1.468	0.028
5月	1.471	0.003
6月	1.464	▲ 0.007

＝利用に当たっての注意＝

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

FAX 0134-22-9957